

# 普及技術

平成21年度

新たに開発したブナシメジ「越のわらべ2号」		
[要約] <u>ブナシメジの新品種「越のわらべ2号」</u> は「越のわらべ」と同等の収量と味、食感の良さが得られ、「越のわらべ」に比べ茎が白く傘が壊れにくい特徴がある。		
森林研究所 きのこ・特産課	連絡先	TEL : 0254-72-1173 FAX : 0254-72-0019

## [背景・ねらい]

県内ではブナシメジの生産量が増加する傾向にあるが、これまで県独自の品種が供給されていなかった。そのため、育種試験により得られた優良な1系統について、「越のわらべ」という名称で品種登録を行った（平成18年）。しかし、「越のわらべ」は菌柄が有色で傘が壊れやすいという欠点を持っており、作業時の扱いにくさや店頭での見た目の点から普及が進んでいなかった。

そこで、「越のわらべ」等を母材として育種試験を継続した結果、菌柄が白く傘が壊れにくい特徴を持ち、なおかつ「越のわらべ」の長所である味や歯応えの良さを残した新品種「越のわらべ2号」を選抜した。

## [成果の内容・特徴]

- 1 「越のわらべ2号」は「越のわらべ」と同等の高い収量性をもつ（図）。
- 2 「越のわらべ2号」の最適培養期間は90日間である（図）。
- 3 「越のわらべ」と比べ傘の肉質が硬いため傘が壊れにくく、斑紋が全体に分布している（表、写真）。
- 4 菌柄は「越のわらべ」よりも若干短くて太くなり、色は黄白色である。また、食感の良い「越のわらべ」と同じ肉質であり、歯応えの良さも残している（表）。
- 5 「越のわらべ」と同様に苦味が無く、味が良い（表）。

## [成果の活用面・留意点]

- 1 発芽時、常時高湿度（100%前後）を維持した状態では、傘の上に傘が生じるという再分化が起こるため、湿度は高くしすぎないようにする。
- 2 平成21年4月に品種登録出願した。

[ 具体的データ ]

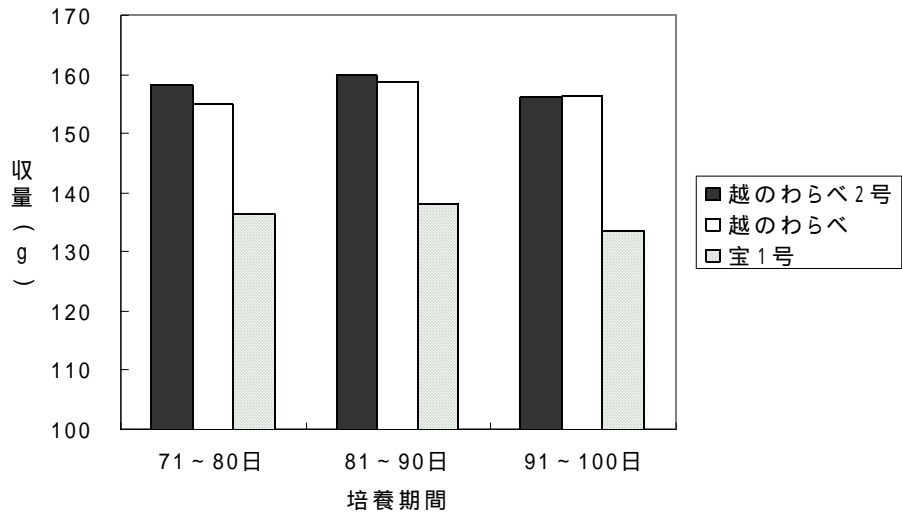


図 各培養期間における収量 (種苗法に基づく特性調査結果による)

表 形質に関する主な特性

特性 品 種	菌傘		菌柄				苦味
	斑紋の分布状態	肉質	長さ(mm)	太さ(mm)	色	肉質	
越のわらべ2号	全体部分	中	59.5	9.4	黄白色	中	無
越のわらべ	中央部分	軟	64.3	8.8	灰茶色	中	無
宝1号	中央部分	やや硬	72.9	8.4	黄白色	中	無

種苗法に基づく特性調査結果による



写真 越のわらべ2号 (左) と越のわらべ (右)

[ その他 ] 研究課題名 : きのこと菌床栽培のコスト低減技術の開発

予 算 区 分 : 県単

研 究 期 間 : 平成18 ~ 22年度

発表論文等 : 新潟県森林研究所研究報告第50号 (2009)